

いのちと暮らしを守る政治、今年こそ！



昨年10月31日、午後11時50分過ぎ、私は衆院新潟6区の市民と野党の共同候補、梅谷守事務所で歴史的勝利の瞬間に立ち会うことができました。

長年、衆院の選挙区選挙に取り組んできましたが、自分が応援した候補が勝利

したのは初めての経験でした。しかも政権交代をめざした最初のたたかいです。感動で体が震えました。

歴史は紆余曲折を経ながらも必ず国民が主人公の政治へと変わっていく。そのことに確信を持ったことは言うまでもあ

りません。

今年も重要な政治選が続きます。アメリカ、大企業優先の悪政から市民の命と暮らしをしっかりと守ることができる政治への転換をめざして、全力で頑張る決意です。よろしくお願いいたします。

人口減少が続く、75歳以上の後期高齢者は着実に増える。これからは肺炎、骨折などは後期高齢者の増加に伴い増えるが、専門的な手術を要する「がん」などの入院はそれほど増えない。医師不足の中、このままでは救急体制を確保できない。また、若手医師が病院に集まらない。

このねらいはどこにあるのか。このほど新潟県福祉保健部がまとめた「新潟県における地域医療構想実現への取組について」という文書に書いてあります。要約すると次の通りです。

この結果、県立中央病院（写真）、上越総合病院、けいなん総合病院、糸魚川病院など上越地域の8病院の医療機能再編をどうしていくかの本格的な議論がはじまります。

新潟県は昨年9月27日、厚生労働省に、上越市、糸魚川市、妙高市の上越区域を、「上越市内の人工透析医療体制の確保が喫緊の課題となっているなど、医療再編を見据えた体制構築の議論が待ったなしの状況だ」などとして「重点支援区域」にするよう申請していました。12月3日、厚生省はこれを認めました。

上越区域住民にとっては重大問題 厚労省の「重点支援区域」指定



【スイセン】（再掲）ヒガンバナ科の多年草。漢字で「水仙」と書きます。写真のスイセンの草丈は30センチほどです。吉川区下町で12月23日にこの花を見つけ、「これは早い」と思ったのですが、早い花は11月から咲くそうです。花は白色、黄色が中心です。少し甘い香りがします。黄色いスイセンの花言葉は「もう一度愛して」「私のもとに帰って」。



いまこそ圏域ごとに特定の病院に医師などを集約し、手術や救急に確実に対応できるようにしよう。

「地域医療構想」は国が社会保障費削減をねらい、医療費を減らし、急性期のベッドを減らすことを目的にしたものですが、新潟県はこの国の方針に基づいて、「医療改革」を進めようとしているのです。新型コロナウイルスで病院ベッドが足りなく、自宅療養を余儀なくされた事態が発生したにもかかわらず、いま、こうしたことを進めるのは大問題です。今後の動きを注視し、問題点を浮き彫りにしていきたいと思っております。

はしづめ法一の 活動レポート

No.2043 2022.1.2

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い 第六九〇回 美男カズラ

美男カズラを「ご存じでしょうか。雪の降る季節に赤い実をつけている常緑のツル性植物です。」

先日、友人のTさん宅を訪れた時のことです。用が済み、玄関で長靴をはいて帰ろうとしている時に、台の上できれいに咲いているシンビジウムが目に入りました。

「冬になると、花が少なくなってるね」そう言ってカメラを花に向けさせてもらいました。活動レポートの「花コーナー」に載せたくなったのです。撮影が終わると、Tさんのお連れ合いが、「美男カズラ、見ていきなると言われました。」

「美男カズラ」という名前は初めて聞く名前です。もちろん、見に行きました。「カズラ」という言葉が付くからには、つる性植物であることは想像できました。が、これまで花も実も見ることがありません。

「美男カズラは男性の整髪剤としても使われるんです」という説明を聞きながら、Tさん宅の南側の軒下まで行くと、ナテンのような真っ赤な実やそれよりも少し薄赤い実を付けたツルが縦一・五段、横二段ほどの空間に広がっていました。

赤い実はナテンの実が鈴なりにになっている感じです。たくさん赤い実は花に負けないくらい美しいさがありました。特に、この日は雪が降り始めたこともあって、赤い実の美しさが際立ちました。

Tさんのお連れ合いによると、この美男カズラは二十数年前に柿崎のホームセンターで入手したということでした。

たぶん、入手した時期は秋が終わって冬に向かっている頃だったのでしよう。Tさんは売れ残って、お店の軒下に置いてあった美男カズラ、バラ、小さなひまわりなどを見て、「何か捨てられていたようにかわいそうだ」と思ったのだそうです。それでお店のBさんに話して、「一千元から三千元といった超安価で分けました。」

そのとき入手した花木は物流で使うパレットひとつ分もあつたとか。軽トラに積まれた美男カズラなどを見て、Tさんのお連れ合いは「とっぴょうしもないことをする人だ」とびつくりされたそうです。

大量に入手した草木は、まず自宅の周囲に植えました。美男カズラは、道路から丸見えの家の西側に植えました。こんもりと育て、「目隠し」にしたかったのです。

購入した花などはパレット一つ分です。いうまでもなく家の周囲だけでは植えきれません。Tさんは当時勤めていたS社の建物のまわりにも植えたことでした。

あれから二十数年経ちました。Tさんの自宅周辺に植えたもののうち、良く育ったのは美男カズラとバラでした。とくに美男カズラはその土壌（どじょう）が良かったのでしょつか、どんどん広がりました。

家の西側の美男カズラはつるが繁茂し、当初のねらい通りこんもりした生け垣のようになりました。その実は赤だけでなく、赤と黒の中間色などじつに多彩です。

この美男カズラの実を自分たちの食べ物の一つにしているのが小鳥たちです。小鳥たちは赤い実をあちこちに運び、食べたあとの種は落とせばなしです。現在、家の南側の軒下で真っ赤な実をつけた美男カズラも小鳥たちが増やしたものです。

それにしても、捨てられる運命だった植物がここまでになるとは……。植物に対してもやさしい心をむけるTさんの生き方、改めて素敵だと思いました。パレットの植物たちもいい人と出会いましたね。

活動レポート、2021年10大ニュース

- ①市民と野党の共同の力で衆院6区、梅谷守氏初当選（10月）
- ②市長選で中川幹太氏も初当選。日本共産党は自主投票（10月）
- ③新型コロナウイルス、上越でも猛威。共産党議員団、質問と要請活動活発に。
- ④年明け早々の豪雪で市民生活に深刻な影響（1月）
- ⑤上越医療構想区域も重点支援区域に選定。病院再編許さぬたたかいの盛り上げ必要（12月）
- ⑥柏崎刈羽原発で不祥事相次ぐ。中川市長、安全協定改定に意欲
- ⑦佐渡汽船小木直江津航路問題で活発な議論



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月22日(水)	12月26日(日)
上越南消防署	0.047	0.053
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.050	0.047
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.057	0.057

- ⑧大雪の検証報告（10月）
- ⑨橋爪の活動レポート2000号に到達
- ⑩橋爪のエッセイ6冊目、7冊目刊行『笑顔ふたたび』『じゃがじゃが煮』



佐渡へは早くなくても物資や事は運ばず 上越市・現職では佐渡汽船の財政支援したい

【この企画】 佐渡汽船の経営不振、船客減少が深刻化している。上越市は佐渡汽船の財政支援を求めている。佐渡汽船の経営不振の原因は、船客減少と燃料費の増加にある。上越市は、佐渡汽船の財政支援を求めている。佐渡汽船の経営不振の原因は、船客減少と燃料費の増加にある。上越市は、佐渡汽船の財政支援を求めている。

雪害対応などで皆さんの質問

【はしづめの法】の活動レポート No.2000 2021.2.28